

令和5年度 第5回逢妻地域会議 会議録

■日時 令和5年9月20日（水） 午後6時30分～午後8時

■場所 逢妻交流館 1階 多目的ホール

■出席者

＜委員＞	岡田 一（会長）	川瀬 光和（副会長）	竹原田 力
	永井 晃彦	中野 有紀	鈴木 靖夫
	松崎 康則	大高 日出子	三村 義博
	岩内 輝義	今村 典生	篠田 和明
	光岡 博	鈴木 仁	永田 雅司
	加藤 圭一		
＜欠席者＞	鷲野真由美		
＜事務局＞	松下 誠（拳母事務所 副所長）	田嶋 優俊（地域支援課 担当長）	
	近藤 綾香（地域支援課 主事）		

■次第

- 1 会長あいさつ
- 2 答申に向けた協議
 - （1）グループワーク
 - （2）協議内容共有

■議事（要約）

2 答申に向けた協議

事前に記入した「意見シート」を基にグループ内で意見交換を実施した。各グループでの主な検討内容は次のとおり。

＜Aグループ＞

○総合計画の全体的な方向性については妥当と考える。

○めざす姿について

・つながりが大切という考え方に賛同する。まちが発展するには、人と人とのつながりは欠かせない。

・美山自治区では、3役と組長が力を合わせてイベントを行っているので、つながりはできている。

○まちづくりの基本的な考え方について

・住民の意識を変え、「あるものを生かす」という発想が大切だと思う。

○ミライ実現戦略2030の方向性について

・地域の良さを子どもたちに伝えることは重要だと考える。

・地域だけで盛り上がるのではなく、他地域も巻き込む活動が必要。

○その他の意見

・総合計画ができあがった時に、どれだけの市民に伝わっているか疑問。

・わかりやすく伝える工夫が必要。

・逢妻地域から病院・スポーツ施設・公共施設などへ通える交通手段として地域バスが必要。

<B グループ>

○総合計画の全体的な方向性については妥当と考える。

- ・逢妻は年配者も子どもも多い地域。誰にでも分かりやすく明るい未来を感じる良いスローガンだと思う。

○めざす姿について

- ・地域の行事を進めながら人と人との「つながり」を深めていくことは目指す姿として妥当。
- ・人とのつながりがないと成長もないと思うので、人を通じて気づいたり、学んだりすることがたくさんある。

○まちづくりの基本的な考え方について

- ・「変える」ではなく、「変わる」ことが必要。「変わる」ためには、気持ち（意識）の変化が必要。また、変わる勇気を持つためのきっかけが必要。
- ・変わったことを見える化することが大事。
- ・思い込みにこだわらず、違う価値観を認める。
- ・行動しないことには思考も変わらないので、まずは行動（行事への参画）が大事。ただ、いかに呼び込むかが課題。

○ミライ実現戦略2030の方向性について

- ・方向性は妥当と考える。少子化・高齢化が進む現在、子どもの育成が必要不可欠。
- ・逢妻地区では近い未来南バイパスが開通し、利便性が高まるため、ますます地元愛が高まると思われる。知立バイパスのように、高架下にできた空き地を地域住民のスポーツのために開放するなど、地域住民に慕われるミライ実現に期待する。

○その他の意見

- ・第9次総合計画が策定されたら、市民に分かりやすいパンフレットを作成していただきたい。
- ・スローガンを市役所や支所に掲示し、総合計画について市内外に発信するとよいと思う。

●次回逢妻地域会議

日時：令和5年10月18日（水）午後6時30分～

場所：逢妻交流館 1階 多目的ホール